**第５学年３組　家庭科学習指導案**

**１　題材名**手ぬいでわくわくソーイング

**２　題材について**

（１）　児童は、5年生になって初めて裁縫を習う。そのため裁縫道具を使って小物を製作したことがあるという児童は少ないと思われる。しかし、4年生の時に創作クラブに入っていた子や、女の子の中には家で経験している子が多く、裁縫の授業を楽しみにしている子が多い。特に今回の単元は実習を伴うので、その期待は大きいと思われる。全題材「作ろう わたしの温野菜サラダ」では調理器具を使ったことがある児童が少なかったものの、調理実習に意欲的に取り組み、学校で学習したことを家庭で実践した子が多かった。実習後には楽しかったという声も聞こえた。本題材においても、制作の楽しさを味わうだけでなく、今後も実生活で作ってみたいという期待を高めさせたい。

衣服や布製品に関して、最近は既製品を購入することが多く、布と針を使って自分で製作するという機会は減ってきている。自分で作ることの良さは、作った物に愛着がわき、大切に使おうという気持ちが高まることである。そのため、デザインや縫い方を自分なりに考え、自らの力で生活に必要なものを作るという本教材はよりよい衣生活をするうえで重要であると考える。

（２）　本題材は、身の回りの布製品に関心を持ち、縫い方に関する基礎的な技能を身につけ、実際に生活に役立つ小物を製作していく、という教材である。裁縫道具の安全かつ適切な使い方を身につけるだけでなく、目的に応じた縫い方を工夫して考え、製作していくことが大切である。また、授業だけにとどまらず家庭生活でも実践してみたいと思えるように、楽しめる活動を取り入れる必要がある。

裁縫の経験には児童によって差があるため、上手く玉止めができない子や、どのように縫えばよいのか悩む子が出てくると考えられる。なので、個別への対応や見本物の提示をすることで、作業への抵抗やつまずきを少なくしたい。

（３）　展開にあたっては、縫い方が見ただけでわかるように図や写真を提示するようにしたい。製作物を計画する段階では、糸の本数、縫い方の種類、縫い目の荒さなどに着目させる。製作段階では児童の状況に応じて教師の実技を取り入れるようにしたい。作業スピードに差が出ることが予想されるので早く進んでいる子には模様などをつけてデザインを工夫するよう指示する。

本時ではまず、4種類の縫い方（並縫い・半返し縫い・本返し縫い・かがり縫い）の一つ「かがり縫い」を練習する。その後、それぞれの縫い方を振り返り、それぞれの縫い方のよさや特徴を捉える。また、糸の本数や縫い目の大きさによっても仕上がり（丈夫さ）が変わってくることを理解する。

**３　題材の目標**

〈家庭生活への関心・意欲・態度〉

　〇　手縫いに関心をもち、目的に応じた縫い方で製作し、その楽しさや活用する喜びを味わう。

〈生活を創意工夫する能力〉

　〇　手縫いにより目的に応じた縫い方について考えたり、自分なりに工夫したりする。

〈生活の技能〉

　〇　製作に必要な用具を安全に取扱い、手縫いにより簡単な縫い方ができる。

〈家庭生活についての知識・理解〉

　〇　製作に必要な用具の安全な取扱い方や手縫いによる簡単な縫い方がわかる。

**４　題材の指導計画**（6時間扱い）

　〇　裁縫道具をそろえよう　　　　・・・・・・1時間

　〇　ネームプレートを作ろう　　　・・・・・・2時間

　〇　生活に役立つ小物を作ろう　　・・・・・・3時間（本時4/6時）

**５　本時の学習指導**

（1）目標

〈技能〉

　○用具を安全に取り扱い、かがり縫いができる。

〈知識・理解〉

〇それぞれの縫い方の特徴やよさがわかる。

（2）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 時間 | 教師の働きかけ（○）と評価規準（◇） | 資料等 |
| １　本時のめあてを確認する。２　かがり縫いを見て、縫うときに気を付けることを考える。　・玉止め玉結びが出なようにする　・縫い目は斜めになる　・等間隔３　かがり縫いを練習する。４　４つの縫い方をやってみて気づいたことを書く。班で意見交換する。　・なみ縫い→等間隔に。細かく縫うときれいだし、丈夫。４つの中で一番速く縫える。　・半返し→なみ縫いより丈夫に縫える。表はなみ縫い、裏は一直線になる。（半分重なる）　・本返し→二本どりだと縫いにくい。一番丈夫。表と裏で縫い目が同じ。　・かがり縫い→縫い目が斜めになるときれい５　発表を聞いて、それぞれの縫い方の特徴を理解する。 | 1’5’18’10’10’ | ○3つの縫い方を復習する。本時はかがり縫いをやることを伝える。4つのぬい方の特ちょうを考えよう○かがり縫いのポイントや注意点を板書する。縫い始めと縫い終わり、今までの縫い方との違いに着目する。○安全に配慮するため、班で針の本数を数える。○やり方がわからない子には実演をしながら机間指導する。○早く終わった人は、なみ縫い・返し縫いをもう一度練習するよう指示する。○実物や資料を見ながら特徴を捉えやすくする。その際、縫い目の大きさや表と裏の様子、糸の重なりなどに注目するよう助言する。

|  |
| --- |
| ◇それぞれの縫い方の特徴がわかる。〈知識・理解〉（ワークシート） |
| →縫い方を思い出せない子には、プリントのイラストに注目させたり実物を見せたりする。→書けている子には、より上手に縫うにはどうしたらよいかを考えるよう指示する。 |

○糸は2本どり、縫い目は細かいほうが丈夫に縫えることを理解する。 | ・書画カメラ・フェルト・ワークシート・許可書の拡大コピー　　　 |

**６　備考**在籍児童数　35名

**７　板書計画**

かがりぬい　　　　　なみぬい　　　　　　　半返しぬい　　　　　　　　　本返しぬい

玉止め玉結びが表に　　　　速くぬえる　　　　　　　　なみぬいよりじょうぶ　　　　　一番じょうぶ

出ないように　　　　　　　ぬい目細かく　　　　　　　表はなみぬい　　　　　　　　　表とうらが同じ

布のはしをかがる　　　　　等間かく　　　　　　　　　うらは一直線（半分重なる）

布のほつれを直す　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

かざりになる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　じょうぶにぬえる

課題

**４つのぬい方の特ちょうを考えよう**

５年３組　名前

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **ぬい方** | **なみぬい** | **半返しぬい** | **本返しぬい** | **かがりぬい** |
| **表** |  |  |  |  |
| **うら** |  |  |  |  |
| **ぬってみて気づいたこと** |  |  |  |  |

**ぬい方以外でじょうぶにぬうためには・・・**○をつけましょう

**1本どり　　　　　　　　　2本どり　　　　　　　　ぬい目の大きさ**

**　 **　

**※1本どりでは、　　　　　　　　　　　　　　気を付ける。**

**○じょうぶにぬうための工夫を自分の言葉でまとめよう。**